

調査票番号		
調査日	平成 年 月 日	配置状況
1 調査時	: ~ :	
調査員		
所在地		
世帯主		
備考		■判定した住家の範囲(建物のうち居住の用に供されていると推定される部分)が分かるように記載

3 応急危険度判定	危険	要注意	調査済	不明	※応急危険度判定に記載されているコメントを転記

4 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊	該当あり → <input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
	<input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊 <input type="checkbox"/> 基礎のいずれかの辺が全部破壊かつ破壊している基礎直下の地盤に地震に伴う陥没、隆起、液状化等の被害有	

5 傾斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値	6cm以上 → <input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
	水平距離(cm)						

6 躯体	<input type="checkbox"/> 基礎の損傷率が75%以上である(損傷長/全長×100)	損傷率75%以上 → <input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)

7 基礎	損傷率	~10%	~20%	~40%	~60%	~74%
	損害割合	1	2	4	6	7

8 壁	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%
	無被害	0	0	0	0	0	0
	程度Ⅰ	1	2	3	5	6	8
	程度Ⅱ	2	4	8	12	16	20
	程度Ⅲ	4	8	16	24	32	40
	程度Ⅳ	6	12	24	36	48	60
程度Ⅴ	8	16	32	48	64	80	

9 屋根	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%
	無被害	0	0	0	0	0	0
	程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1
	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3
	程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5
	程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8
程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	

損害割合算出表 (注)「5傾斜」の平均値が2cm以上の場合、「計あ」と「計い」のうち大きい値を損害割合とする。

傾斜	7基礎	+ 8壁	+ 9屋根	= 計あ	傾斜	傾斜	+ 9屋根	計い
	無					有	1 5	

判定	損害割合	20%未満	20%以上	40%以上	50%以上
		<input type="checkbox"/> 半壊に至らない	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊